



# 舞 浜

学 校 だ よ り  
第 1 2 号  
令 和 2 年 1 月 2 7 日  
浦 安 市 立 舞 浜 小 学 校  
校 長 小 野 田 政 巳

学校教育目標 <健康で 思いやりの心を持ち 自立できる 子どもの育成>

目指す

子どもの姿

○心身ともに健康で、安全に行動する子

○人に優しく、思いやりを持って行動する子 ○進んで学ぶ子

暦の上とは言え、2月4日は春の始まりです。寒い日が続いていますが、もう少しの辛抱ですね。

今年度も残り2ヶ月足らずとなりました。2月の登校日は18日。3月は6年生が13日、1～4年生が16日、5年生が17日です。希望をもって進級、進学ができるよう、準備を進めてまいります。

今年は子年(ねどし)です。そして、閏年(うるうどし)です。最近になって気づいたのですが、オリンピック・パラリンピックが行われる年は、必ず閏年ですね。そして必ず子年か辰年か申年です。4年のサイクルが、丁度重なっているのですね。今年の干支、庚子(かのえね)には、新たな芽吹きと繁栄の始まりという意味があり、新しいことにチャレンジするのに適した年なのだそうです(インターネットの記事にありました)。今年が、皆様にとって良い一年になりますよう、お祈り申し上げます。

## <<5年生 雪国体験教室 1/19(日)～1/21(火)>>

新潟県湯沢町岩原スキー場で体験学習をしました。積雪が40cmと少ない中、インストラクターさんに教わりながら、スキーの練習に取り組みました。みんなぐんぐん上達し、2日目にはリフトに乗って下まで降りてくることもできるようになりました。3日目にはたくさん雪が降り、一面の銀世界を見ることができました。現地の方による雪国のお話、笹団子作りなどを通して、上越地方の伝統についても学びました。



## << 全校集会 校長の話より抜粋 >> ※子ども達に向けた言葉のまま、記載させていただきます。

さあ、今年は何を頑張りますか。どんなことに挑戦しますか。正月の「正」、正しいという漢字は、「一」と「止」まるという字を合わせてできています。自分が正しい方向へ成長できるように、一度立ち止まって自分自身を振り返ってみよう、という意味があるのかもしれませんが。今の学年も残りわずかですね。自分の良い所を大切にしながら、もっとよくできると思うことに、積極的に挑戦しましょう。

さて、この字は何歳の人が書いた字だと思いますか。当時26歳の星野富弘さんという人が書いたものです。星野さんは器械体操を高校・大学と続け、中学校の体育の先生になりました。しかし、先生になってわずか2か月後、大けがをして首から下が全く動かなくなってしまいました。自分でトイレに行くことも、ご飯を食べることもできません。あふれる涙を拭いたくても手が動きません。病院のベッドの上で、天井だけを見つめる辛い日が2年も続きました。

そんなある日、同じ病室にいた男の子が別の病院に移ることになり、その子の帽子に寄せ書きをすることになりました。星野さんはサインペンをくわえ、全身の力を首に集中して頭を持ち上げました。ペンの先がわずかに帽子に触れ、ゴマ粒くらいの黒い点がつきました。しかし、力が続かず、できたのはそこまででした。その後はお母さんの力を借りてサインを書いたのですが、男の子がとても喜んでくれたので、星野さんは「何とかして字を書けるようになりたい」と思うようになりました。

それから半年が過ぎました。星野さんがどんなに頑張っても1本の線すら書けません。それでも、星野さんは諦めていませんでした。するとある日、看護師さんが「横向きの姿勢で書いてみたら…。」と言ってくれました。横向きなら頭を持ち上げなくていいからです。

横向きにしてもらい、書き始めてしばらくすると、サインペンをはさんでくわえていたガーゼは、よだれでぐっしょり濡れていました。しかし、ついに書けました。その時に書いたのが、始めに見せたカタカナです。星野さんは嬉しくて嬉しくて仕方がなかったそうです。そのうちに首は疲れて、字がぐにゃ

ぐにやになってしまいましたが、やめられませんでした。星野さんは、次の日も、その次の日も、毎日ベッドの上で練習を続けました。

星野さんは、器械体操をやっているつもりで、字の練習をしてみようと思いました。オリンピックで金メダルを獲る人だって、いきなりすごい技はできません。どんなにすごい技も、たくさんの易しい技や地味な技を、毎日毎日練習し、積み重ねていくことで初めてできるようになります。星野さんは、口で字を書くことも、それと同じではないかと思いました。「何年かかってもいい。下手でもいい。初めて吊り輪にぶら下がった時だって、何にもできなかつたじゃないか。」時間をかけて練習していけば、いつかきっと、きれいな字が書けるようになると思いました。そして9年間の病院生活の中で、星野さんは字だけでなく絵も描けるようになり、なんと退院する時には、作品展を開くようになったのです。これが星野さんの作品です。昇降口前の掲示板に、作品のカラーコピーをはっておくので、後で見てください。今では星野富弘美術館ができ、星野さんの作品がたくさん展示されています。

首から下が動かなくなっても、動かせる口と首を使って字を書こうと決め、諦めずに練習を続けた星野さんは、本当に凄いですね。そして、星野さんを支えてくれた家族や友達、アドバイスをくれた看護師さん達のこと、素晴らしいと思います。

希望を捨てず、努力を続けていれば良いことがあると、星野さんは教えてくれているように思います。皆さんも、うまくいかないことがあって辛くなったら、星野さんのことを思い出して、頑張ってみませんか。それでは、良い一年になりますように。

《 全校集会で、しようと思っていた話 》 (もう、話す機会がありませんので・・・)

大リーグで活躍する大谷選手の高校1年生の時の目標(夢)は、日本のプロ野球の8球団からドラフト会議1位で指名されることでした。その目標を達成するために、8つの目標を考えました。①体力作り、②コントロール、③キレ、④スピード 160 km/h、⑤変化球、⑥メンタル、⑦人間性、⑧運です。

そして、その8つの目標の1つ1つに、8つの目標を作っています。「8球団から1位で指名される」という大きな目標を達成するために、72の小さな目標を考えたのです。さらに驚いたのは、目標の中身です。「メンタル」の8つの目標の中には「仲間を思いやる心」があります。「人間性」には「感謝・礼儀・思いやり・感性・信頼される人間・愛される人間」があります。「運」には、「ごみ拾い・部屋掃除・あいさつ・道具を大切に使う・審判さんへの態度・応援される人間になる・本を読む・プラス思考」があります。野球の技術とは、直接関係がなさそうなことが並んでいます。

はっきりとした目標、目的をもつ	一言一塵しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	地
ピンチに強い	メンタル	雰囲気は流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可
感性	愛される人間	計算性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カゴ増
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	速くのカ
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	スト見じで

大谷選手は、一流のプロ野球選手になるために、人間としても一流になろうと考えているのかもしれませんが、とても、魅力的ですね。

【2月の主な行事予定】 詳しくは2月の学年だよりでご確認ください。

4 (火) 立春 4年生 海苔すき体験(~5日)	19 (水) バトクラブ発表会(昼休み) 集金日 思いっきりタイム(3・5年交流)
5 (水) 浦教研 下校 13:15	20 (木) 個別学習の時間
6 (木) 個別学習の時間 	23 (日) 天皇誕生日 
7 (金) 6年生 国会見学 5年生 こども園交流会	24 (月) 振替休日
8 (土) 舞浜祭(おやじの会主催)	25 (火) 学習参観・懇談会(1・2年)
11 (火) 建国記念の日	26 (水) 学習参観・懇談会(3・4年)
12 (水) 吹奏楽部ハピネスコンサート(昼休み) 思いっきりタイム(2・4年交流)	27 (木) 学習参観・懇談会(5・6年) 
17 (月) 委員会活動(最終)	28 (金) 6年生を送る会

**3月の主な行事予定** ○3/3~3/10 短縮日課 5時間 ○3/12 中学校卒業式 ○3/14 ドリームナイトコンサート  
○3/16 卒業式予行 ○3/18 卒業式 ○3/19 給食終了 ○3/25 修了式